

「交流・生活・環境」部門幹事会（11 月 28 日） 主要意見要旨

（果たすべき役割）

- ・ 駿河湾として、交流のネットワーク化を進める方向としたい。

（にぎわい空間）

- ・ これからは“点”としてのにぎわい空間を“線”として結んでいく視点が大切。

（クルーズ）

- ・ 誘致のターゲット（外航 or 内航、誘致地域、誘致隻数等）の議論が必要。
- ・ 船社の寄港判断はハードの充実だけでなく、観光メニュー、C I Q等のソフト施策も重要。
- ・ 複数港セットのクルーズプラン（駿河湾の複数港を入出港に使い、港間を陸上移動）ができないか。
- ・ クルーズ船の大型化による物理的制約を考慮すべき。また、中・小型クルーズ船の動向にも注目すべき。

（清水港）

- ・ 市街地に近いという特性を活かした、観光客を呼び込める空間づくりをしたい。

（田子の浦港）

- ・ 市民が憩えるような空間づくりが基本スタンス。
- ・ J R 吉原駅に近接しているメリットを活かすべき。
- ・ 港を訪問した観光客に湾内クルーズ（西伊豆方面への遊覧等）が提供できないか。

（御前崎港）

- ・ 静岡空港と港を連携した観光客の誘致がこれからの取組課題。
- ・ 「みなとオアシス」に指定されればインパクトになる。
- ・ マリーナの活用が課題。

「交流・生活・環境」部門幹事

	氏名	所属		氏名	所属
幹事長	大村哲夫	一般財団法人みなと総合研究財団 顧問	幹事	西園勝秀	静岡県交通基盤部港湾局長
幹事	渡辺晴久	静岡市港湾担当部長	幹事	山崎 浩	静岡県清水港管理局長
幹事 (代理)	鈴木章司	富士市港湾振興室長	幹事	藤浪哲也	静岡県田子の浦港管理事務所長
幹事	伊藤寿昭	御前崎市事業部長	幹事	鈴木宣好	静岡県御前崎港管理事務所長
幹事	平澤 興	国土交通省中部地方整備局港湾空 港部港湾計画課長	* 欠席：牧之原市産業経済部長		
幹事	白崎正浩	国土交通省中部地方整備局清水港 湾事務所企画調整課長			